

## 佐賀県環境センターでの有害紫外線モニタリングについて

平成 20 年 12 月 5 日

佐賀県環境センター

大気・水質課 北島 淳二

1. 代表者 所長 溝上 茂
2. 測定担当者 大気・水質課 矢幡 良二

### 3. 測定状況

#### (1) 測定状況の概要

佐賀県環境センター庁舎屋上（北緯：33°16'12" 東経：130°16'29"）で、平成 5 年から B 領域紫外線量および全天日射量の観測を開始した。平成 10 年からは UV ネットに参加している。平成 16 年からは A 領域紫外線量の観測も開始し、紫外線の人体への影響を評価した指標である UV インデックスを算出できるようになった。

また、平成 20 年 8 月から、UV ネットのリアルタイムデータ転送システムを導入し、1 時間毎にインターネットを通じてデータ転送することが可能となり、転送されたデータから即座に UV インデックスを算出し、インターネットや携帯サイトで UV インデックス速報を参照できるようになった。さらに、佐賀県環境センターのホームページからも、UV インデックス速報にリンクさせることで、より多くの人に利用しやすいようにしている。

#### (2) 日射量、紫外線量の経年変化

平成 14～19 年の全天日射量、紫外線量の経年変化を図 1 に示した。6 年間の測定結果からは、UV-B の増加傾向は認められなかった。UV-A についても 4 年間の測定結果から増加傾向は認められなかった。

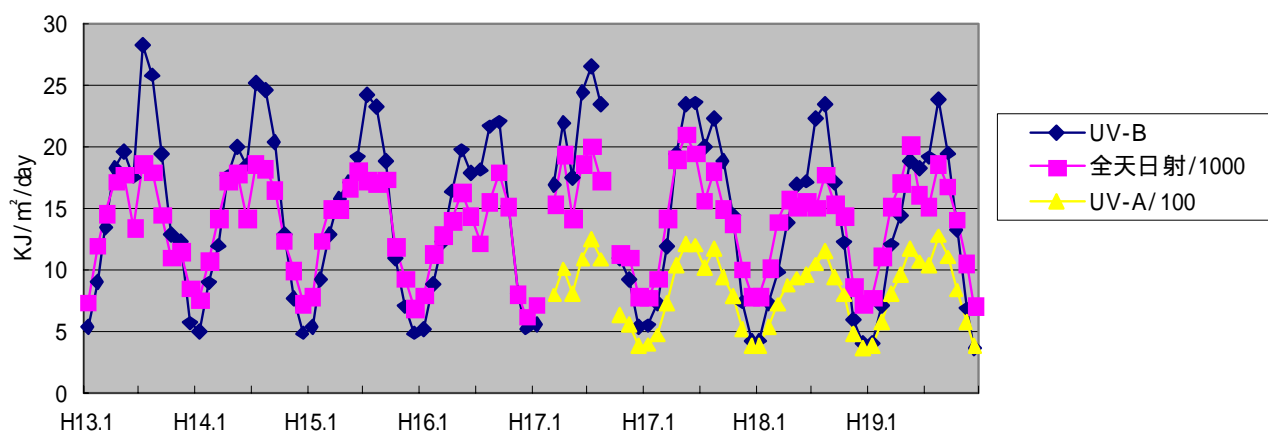


図1. 日積算量の経年変化

### (3) UVインデックスの1年の変化

図2は平成19年1月1日～12月31日までの13:00のUVインデックスをプロットしたものである。晴天時では、夏季(7～8月)には9～10前後の値を示し、冬季には2前後の値を示すことがわかった

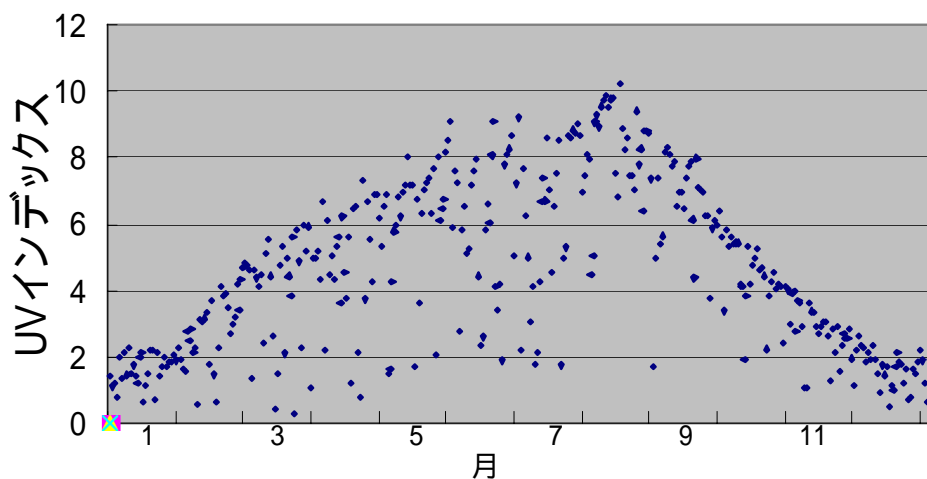


図2. 佐賀県のUVインデックスの通年変化 (H19)

### (4) 他地点との比較

図3は佐賀県でのUV-B観測データを、UVネットの他の観測地点と比較してみたものである。佐賀県でのデータは波照間より低く、筑波より若干高い値となった。

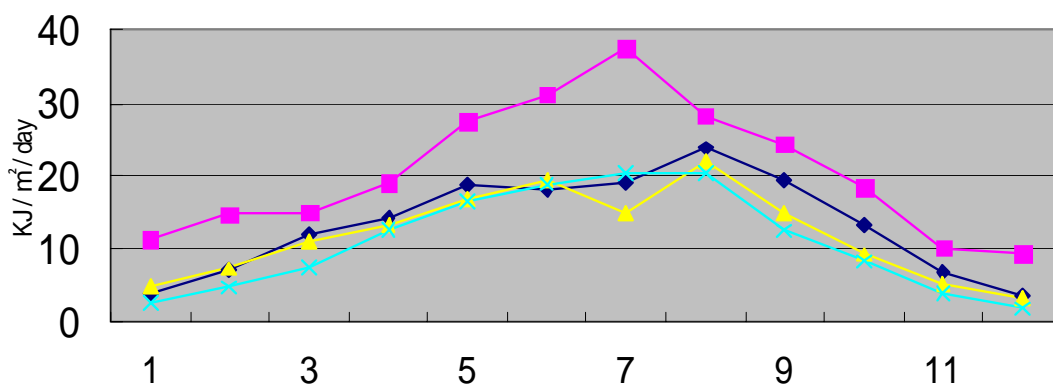


図3 他地点との比較

